学校番号	１０１０

平成 31 年度　音楽科

教科	音楽科	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	標準バイエル（全音楽譜出版）　こどものためのソルフェージュ（音楽之友社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ソルフェージュとは楽譜を正しく読むことを中心とした音楽の基礎訓練です。視唱、聴音で基礎を学びながら、ピアノ演奏では 1 年間でバイエル 40 番はクリアできるようになります。

2　学習の到達目標

音楽を構成する諸要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的能力を養う。

読譜力・リズム感を養い、表現活動に生かす。視唱、聴音、鍵盤楽器の基礎を学び演奏する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽文化を愛好尊重する態度を 身につけ、意欲的・主体的に学習活動を行い理解しようとしているか。	学習した知識、技能を音楽活動に応用しようとしているか。	知識・法則・技術を楽曲分析や演奏に応用することが出来るか。	学習内容を理解し演奏等 に反映することによって、音楽に対する理解を深め ているか。
評価方法	観察 毎時間の聴音ノート提出 個人レッスンでの確認 実技テスト 発表			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1・2クール	視唱	正しい音程、リズムで階名唱 ・1度～5 度 ・2/4 拍子、3/4 拍子、4/4 拍子	○	○	○		a:視唱に関心を持ち意欲的に取り組む b:自然な旋律の流れを作ろうとする c:正しい音程、リズムで歌うことができる	観察 ノート提出 個人レッスン 実技テスト 発表
	聴音	音を聴きとり楽譜にする ・ハ長調 ・四分音符 ・一点ハ～一点ト ・4/4 拍子	○		○	○	a: 聴音に関心を持ち意欲的に取り組む c:音を聴いて正しく楽譜に表すことができる d:音楽理論を理解する	
	ピアノ演奏	バイエル 8 番～22番	○	○	○	○	a: 視唱に関心を持ち意欲的に取り組む b:音楽の流れを把握し、表現する c: 手の形、指番号、タッチに気を付け、楽譜通りに演奏できるか d:音楽理論を理解する	
第3・4クール	視唱	正しい音程、リズムで階名唱 ・2 度～6度 ・2/4 拍子、3/4 拍子、4/4 拍子	○	○	○		a:視唱に関心を持ち意欲的に取り組む b:自然な旋律の流れを作ろうとする c:正しい音程、リズムで歌うことができる	観察 ノート提出 個人レッスン 実技テスト 発表
	聴音	音を聴きとり楽譜にする ・ハ長調 ・四分音符 ・一点ト～一点ハ ・4/4 拍子	○		○	○	a: 聴音に関心を持ち意欲的に取り組む c:音を聴いて正しく楽譜に表すことができる d:音楽理論を理解する	
	ピアノ演奏	バイエル23番～31番	○	○	○	○	a: 視唱に関心を持ち意欲的に取り組む b:音楽の流れを把握し、表現する。 c: 手の形、指番号、タッチに気を付け、楽譜通りに演奏できるか d:音楽理論を理解する	

第5クール	視唱	正しい音程、リズムで階名唱 ・1度～10度 ・2/4 拍子、3/4 拍子、4/4 拍子	○	○	○		a:視唱に関心を持ち意欲的に取り組む b:自然な旋律の流れを作ろうとする c:正しい音程、リズムで歌うことができる	観察 ノート提出 個人レッスン 実技テスト 発表
	聴音	音を聴きとり楽譜にする ・ハ長調 ・八分音符 ・一点ハ～二点ハ ・4 拍子	○		○	○	a: 聴音に関心を持ち意欲的に取り組む c:音を聴いて正しく楽譜に表すことができる d:音楽理論を理解する	
	ピアノ演奏	バイエル35番～40 番	○	○	○	○	a: 視唱に関心を持ち意欲的に取り組む b:音楽の流れを把握し、表現する。 c: 手の形、指番号、タッチに気を付け、楽譜通りに演奏できるか d:音楽理論を理解する	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。